

岐阜市保健所の獣医師  
佐藤文勝さんの願い



※写真のわこは、新しい飼い主と  
市内で暮らしています。

私たちは、飼い主をなくした犬やねこたちの命を救う仕事  
をしています。

かわいい子犬や子ねこをほしがる人はたくさんいます。でも、  
犬やねこは、人とくらべてとても早く大きくなる生き物です。  
小さいうちだけ「かわいいから」と言っておいて、大きくな  
ったら「もういらない」と捨てられてしまうことが私たち  
には一番悲しいことです。

10年後のことを考えてみてください。今小中学生のみな  
さんも、そのころにはみんな大人になっていますね。ペットを飼  
う人には、それくらい先のことまで考えて、責任をもって飼っ  
ていただきたいと願っています。

## 全国で一年間に

捨て  
犬

約10万4千頭  
(まよい犬宮む)

捨て  
ねこ

約24万3千匹  
(平成16年 環境省調べ)



かわいがっていたはずのペットが、**どうしてこんなにたくさん**  
捨てられてしまうのだろう？

飼い主の都合による理由がほとんど

- 引越し…新しい家につれて行けない
- 病気など…正しい手術や治療をうけさせていない

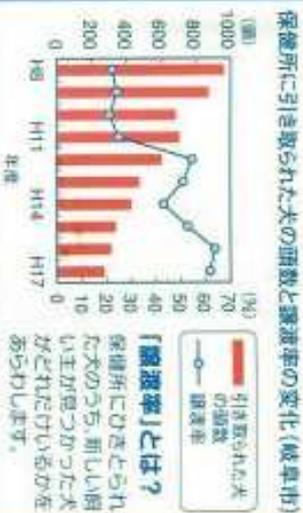
たとえば救われる捨て犬の命は

- **全国平均 10%**  
(10頭に1頭しか助からない)
- **岐阜市 63%**  
(10頭に6〜7頭が助かっている)

※写真の犬は、新しい飼い主と笠松町で暮らしています。

全国で、50%をこえる  
るまちは、岐阜市のほ  
かには札幌市や新潟  
市など、ほんのわずか  
しかないんだよ。





**ひきとりゼロになる日を夢見て**  
 岐阜市では、保健所へもたらされる犬の数が年々へっていき、ペットの命を大切にできる人がふえているといわれています。つれてこられる犬やねこがゼロになる日が来ることを願っています。

**心をな命を救うために**  
 ～岐阜市保健所が取り組んでいること～

**② ひきとる前によく考えてもらう**  
 飼えないという理由でつれてこられたペットを簡単にひきとるのではなく、よく考えてもらう期間をとります。  
 「居間どうに、別れてしまっているのか」  
 ペットの命を第一に考え、飼い続けてもらえるよう、いろいろなアドバイスをします。そのあひだに飼い主の気持ちがかかり、救われることもあります。



**① 「愛犬さがしの会」を開催する**



毎月第3金曜日(4月と9月)の午後1時から、岐阜市保健所でひらかれています。責任をもって飼いたいという人に対して、子犬を無料でゆずり渡してします。保健所で行なわれる「しつけ方教室」を受講した人ならだれでも参加できます。

**子犬をゆずり受けた方の話**

はじめて参加したのに子犬をいただけで幸運でした。大切に育てたいと思います。

愛犬を亡くしてずっとさみしい思いをしていたので、今日ほどでも幸せです。



**譲渡率日本一を支える獣医師のみなさん**  
 左から篠田まりさん、佐藤文雄さん、加藤いつみさん

**④ 市外の人にもゆずり渡す**

「愛犬さがしの会」や「さふびタ」を通しての新しい飼い主さがしとゆずり渡しには、岐阜市に住んでいない人でも、同じ条件で参加することが出来ます。市外からの希望者は、年々ふえているそうです。

**子犬の譲渡率 100%**  
 岐阜市保健所では、子犬の命はすべて救われています。

取材協力 / 岐阜市保健所・譲渡保健室 TEL 058-252-7195

**③ ホームページで紹介する ～まよい犬、おとなの犬(成犬)の飼い主さがし～**



岐阜市のホームページの中にある、市民便利サイト「さふびタ」の待つてるワンリコーナーで強い犬の写真を公開し、飼い主さがしをしています。もし自分の家の飼い犬がいなくなったら「待つてるワンリコーナー」で探してみてください。保健所で保護されている可能性があります。また、成犬のゆずり渡しについての情報も紹介されています。

※写真の犬は、飼い主さまと別な犬種です。

おとなの犬を飼うメリット  
 おとなの犬は、すでに「しつけ」が済んでいるので、比較的簡単に飼えます。

おとなの犬を飼うデメリット  
 すでに「しつけ」が済んでいるので、比較的簡単に飼えます。

※ホームページ <http://ponacity.gifu.gju.go.jp/>

**私たちにできること**

- ペットを飼うなら(死ぬまで)めんどろをみよう。
  - かかりつけの動物病院をつくっておこう。
  - 飼い犬には、かならず鑑札をつけよう。
  - 飼い犬がいなくなったり、まよい犬を見つけたら、すぐに保健所に電話をしよう。
- 何より、「人とペットはお互いに助け合いながら生きていく」という気持ちをお忘れなことが大切なのではないですか。**

